398)　待っている今がその時

まためぐる春のかがやき　あの日から１年すぎて
哀しみや辛かったこと　さまざまに流れていった
君はもう僕のことなど　すっかりと忘れたでしょう
ふと我に返るときには　君のこと思い出します

毎日の孤独に耐えて　思い切り泣きたいときも
この世から消えたいときも　想うのは君のことだけ
どんな日々おくっているか　どんな人愛しているか
君のこと気にかかるのは　心から愛してるから

意地悪な人の噂や　陰口を耳にするとき
時として辛くなること　あったけどもう大丈夫
いつまでも僕は遠くで　君のこと見つめてるから
潮の目が変わるときまで　待っている今がその時

死ぬほどに愛してみたり　死ぬほどに憎んでみたり
恋なんて気紛(きまぐ)れなもの　愛なんて息づまるもの
ひたすらに君を愛して　あるときは君を忘れて
愛だって休暇をとって　ゆっくりとやり直したい